

『おおいしだめとんとむがすあつたけど』(29)

里の赤鬼 その3

ちっちゃいわらすが、

「助けてけろお。」

と言つたれば、赤鬼あ、三角の小屋の戸開げで、

「みんな来い来い。早く来い。雷様落ちねうづ早くこさま来て、雷様止むまで雨宿りする。」

てみんなを小屋の中さ入れでけつたけど。赤鬼あ、雨でぬつたどごろば、火を焚いて乾かしたり、あだらせたり、お湯を沸かして蜂蜜を飲ませでけつたり、栗を焼いて食せたりした。そして、赤鬼は、

「雨止んだがら、雨降らねうづ急いで帰れな。」

わらずだが、家さ来て、爺んつあや婆んつあさ、
「鬼がら助けらつた。赤鬼が蜂蜜のうつまいなを飲ませたり、栗焼いて食へたり、濡つたのをみな乾がしてけつたりしたんだ。」

と言だど。鬼がほがえなごどすつかやと思つたげんと、わらずだが、それぞれ家さ行つてしゃべたなで、家の人も本の氣して、
「んだら、鬼さ礼に行がんなねべやあ。」

と、かぼちゃだの、とつきびだの、豆などをたがて(持つて)赤鬼の家さ行つたけど。

「昨日、おらえの孫だ助けでもらつてありがどさん。かえず、少すばんだげんと、あがらつしゃえ。」

と言つたら、赤鬼は、にこにこして、
「ほがえ氣をつかうごどないのに。雷様なつときは、にわが雨ださげ、ちよこつと雨宿りすつと晴れつさげて、ただ、こいで雨止むのを待つていだけだ。せつかくみんな来たんだは



げ、ほこの土手さねまれ(座れ)、ねまれ。」

て言つて、

「蜂蜜のうまいなもあつす、青鬼が拾てけつた栗もいっぱいあつさげ、みんなして食つてけろ。」

と言つてみんなさこ馳走したんだつけど。

ほれがら、わらずだが、ごつこへめ行つたり、赤鬼どさ遊びへ行つたりするようになったけど。

ほうしている内、日が短くなつて、雨ぱり降つていんなで、遊びに行がねぐなつたんだけど。

雪が降る近くなつて、みんな、思いだして、
「赤鬼、何しつたべにあ、今日天氣いいつす、みんなで行つてみつか。」

て言つて、途中まで行つたら、赤鬼の三角の小屋なぐなつていんだだけ。一人が、
「赤鬼の家、なえぐなつたはあ。何したんだべ。」

みんなしつくらして、ほごさ行つたら、
「どうもありがとう。さようなら。青鬼と遠い所に行きます。」

と書いてあつたんだだけ。ちっちゃいわらすが、
「せつかく友達になつたのになあ。」

て言つたれば、一番大つきい大吉が、
「みんな、赤鬼と青鬼に大つけな声でお礼を言うべにあ。」

と言つて、山に向かつて
「赤鬼、青鬼ありがとう。さようなら。」

と叫ぶと、遠くのほうから、
「さようなら。」

と山びこが返つてきたけど。

○出典 『大石田のとんとむがす』 どんびんすかんこ さるまなぐ (大石田のとんとむがすの会編集・発行、二〇一九年)

町の人口 令和5年8月1日現在		
世帯数	2,246戸	(+2)
総人口	6,197人	(-8)
男	3,073人	(-6)
女	3,124人	(-2)
(7月中の異動)		
出生	2人	転入 3人
死亡	9人	転出 4人

※この人数は外国人も含めたものです。

防災放送の内容を 電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。
このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。
確認ダイヤル: 0237-48-8444
■総務課総務グループ Tel.35-2111 (内線218)

大石田町公式アカウント開設 LINEはじめました

防災情報などを受け取ることができます。
友だち登録をお願いします!

登録方法
右の二次元コードを読み取って友だちに追加してください。
大石田町公式LINE